

8月豪雨災害から見た 問題点と課題

問 川口南工業団地先で発生した災 害の再発防止を

る。

時間雨量や、 る住民もいる。

総雨量では 想定外の

ら要望された項目につ

片づけられない問題であ

答 対策は行政の責務

前野由和議員

あった箇所が被害にあっ 以前から危険との指摘が 特徴について確認する。 で把握できた被害状況と 雨災害について、 12号による豪 現時点

判断しているのか。 住民の声があるが、

成地で発生した被害は、 △災だと憤りを抱いてい



川口南用水路氾濫

の関連はないのかという た。最近の新たな造成と どう

過去のこととはいえ造

なってきた。 問 答 住民の安全 被災集落か

う要請する。 て真摯に対応してい 岩﨑憲郎町長 、行政の責任におい望された項目につい

であろうと指摘する人も

地球温暖化に伴う現象

多いが、それなら今後頻 もは は行政の責務である。 がら対策を講じていくの ている。住民の声を聞きな ついては、津家側へ処理し 新たに造成した団地に

発する危険があり、

ければいけない状況に や想定内として対応しな

今回の災害の対応での課題は 安心を守る

前野由和議員

が認識を聞く 課題など報告や訴えに よって見えてきたと思う 避難所における問題点や おける伝達と説得状況 避難勧告・指示発令に

が功を奏したと考える。 地域住民のコミュニティ を講じたことを評価す を守ることを第一に対策 幸 各関係機関の役割発揮と る。町職員・ などによる減災、 めの対応がとられたこと かったことは、 いであった。 一人の人的被害もな 昼間に早 不幸中の 特に命

> くり、 ニティの維持、 ざまである。地域コミュ 自力で脱出できた地域、 土砂崩壊による孤立から を超えて支えあう体制づ ぎている所など町内さま きた所、 地域の助け合いが発揮で 重機による崩土除去など 避難所の適格性 既にその域を過 集落の枠

岩﨑憲郎町長

関係各位、 特に消防団

> ミュニティがしっかり機敬意を表する。住民のコ の献身的な行動に対して 件の人的被害も

なく防げた。 を検証する一方、国・県の

今回の対応

国保をめ ぐる問題点 安全、安心を守ってい 支援を受けながら住民の

適切な医療確保に努める点に返るべきだ 国保は社会保障であるという原

前野由和議員

ている。 るが、 民保健の向上に寄与する 金を財源の一部にしてい なるのか。そもそも国保 ことを目的としてうたっ は加入者より徴収した税 おける被保険者数はどの ような傾向を示すことに 国保の世帯数と被保険 社会保障として国 今後の人口推移に

多くなっている。 率が最も高くなってい は非正規雇用の若年層も が多い傾向にある。 所得に対する保険料負担 国保が医療保険の中で、 社会保障であるはずの 被用者保険には2分 国保の場合低所得層 一定の所得もある の事業主負担があ

討課題も見えてきたと思 の課題と、中長期的な検

取り組みへの決意

リアフリー

化など喫緊

どは直接窓口で支払う医 論が進んでいる。議会にお 療費ではないが、 医療機関へ頼ることが多 望を上げていると思うが、 かかる経費である。 くなっている。 ての診療科がない。 これまでの対応を聞く。 た。検討会の中で訴え要 するよう意見書を採択. 元に戻し、医療費の50%に いても過去に公費負担を 町内医療機関には、 運営を県単位にする議 交通費な 病気に 町外 全

針化されている。 抑制で対応することが方 混合診療の導入、 床の削減など総じて診療 軽微な投薬の保険外 初診料の定額負担、 入院病

本的にメスを入れなけれ 高い薬価の問題など根

ばならない問題がある。

岩﨑憲郎町長

然減に突入している。 高齢化に伴い急激な自 高

住民の健康と命を守って で市町村の意見として住広域化等連絡協議会の中知県市町村国民健康保険 て維持していく視点で取 り組んでいく 療が受けられる制度とし 民の声を届け、適切な医

いく町の施策を要望する。

鳥獣被害の危険

保健衛生面を含め対応の人的被害対策を

前野由和議員

答

問

にあるのか。 平成26年度のシカ、

なり、 でも見受けられるように 染症で死亡例が発生-他県ではマダニによる感 媒介されるようになった。 ウイルスを持ったダニが ので防護は難しい 少しの隙間から侵入する ことができるが、 でシカ、 生息数はどのような傾向 シカの食害が人家付近 人の行動範囲内に イノシシは防ぐ サルの捕獲数と 電気柵など サルは

ドを狙って、 急な対策を問う もなると思われるが、 の生き甲斐を守ることに 症を防ぎ、 被害から守ることは感染 危惧される。集落を鳥獣 も被害が発生することが う報道があった。町内で 被害が多発しているとい 似害が、サルが出没し、かょって、人家周辺に また犬猫のペットフ 山で暮らす者

岩﨑憲郎町長

問

移動するので把握してい息数については広範囲に ル2頭となっている。生イノシシ14頭、ニホンザ 時点でニホンジカで頭、 捕獲数は今年度8月末

おり、

も注意しなければならな

保健衛生の観点から 感染症の危険が迫

状況となってきた。

影響

は減少していない。 と聞いているが、捕獲数 ない。近年減少している

報告はない。 サルのかみつき被害の 保健衛生面

でいく。 を含めて集落での生活を 参考にしながら取り組ん 維持する視点から意見を

豪雨災害と消防団員手当

問 にできたのか 未曾有の災害で避難はスムーズ

地域コミュ ティの中で円滑に避難

答



ていた。 超高齢化した集落では困 期的な対策を講じて大き る。 苦労をされたと推測す 難となり、 な災害を未然に防止をし 集落の方、 かつては集中豪雨時に 今回の未曾有の災害 しかし、 土木業者が初 加えて避難も 現在の

早

う取り組むか。 ズにできたのか、 を通して、避難がスムー 今後ど

岩﨑憲郎町長

ニティの中で円滑に避難が まざまな反省もあり、検証 行われた。今回の避難にお をだしたが、地域のコミュ いて避難所の運営などさ 告、地域ごとに避難指示 が発生し全地域に避難勧 雨により、各地域で災害 し万全を期したい 長期間にわたる集中豪

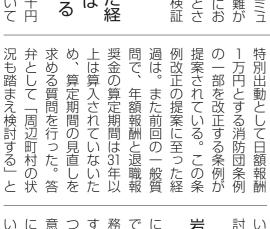
緯と退職報奨金改正の検討結果は消防団条例の一部を改正に至った 消防団員の真摯な活動に応える である。今議会においておける日額報酬は6千円 部を改正に至った経

> 討の結果は いうことであったが、 検

板送り大会 (川戸部)

岩﨑憲郎町長

する。 いく。にあった見直しを行って 意見を求めながら、 務に従事する場合に支給 ついては、 で長期にわたる緊急の職 に応えるため、 消防団員の真摯な活動 退職金の見直しに 今後とも広く 災害など



団員の緊急出動に

重森一宗議員

答